

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年12月5日(2019.12.5)

【公開番号】特開2019-177196(P2019-177196A)

【公開日】令和1年10月17日(2019.10.17)

【年通号数】公開・登録公報2019-042

【出願番号】特願2019-115990(P2019-115990)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 2 0
A 6 3 F	7/02	3 1 5 A
A 6 3 F	7/02	3 1 7

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月23日(2019.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域が形成された遊技盤と、

前記遊技領域の所定位置に設けられる始動口と、

前記始動口への入球を契機として取得した抽選値に基づいて当否判定を実行する当否判定手段と、

前記当否判定の結果を示すための図柄が変動表示される図柄表示装置と、

前記遊技領域の所定位置に設けられ、前記当否判定の結果に応じて開放され、遊技球の入球が遊技者への利益付与の契機となる大入賞口と、

前記遊技領域の所定位置に設けられ、入球可能な状態へ変化するよう作動可能な可変入球装置と、

前記当否判定が所定結果となることを示す図柄が停止表示された場合、その図柄停止後に前記可変入球装置の作動を伴う特別遊技を実行する特別遊技制御手段と、

遊技者の操作に応じて前記遊技領域に遊技球を発射可能な発射装置と、

演出表示装置と、を備え、

所定方向への遊技球の発射を促す第1案内表示を演出表示装置に表示可能であり、

前記所定方向への遊技球の発射を促す第2案内表示を演出表示装置に表示可能であり、

所定の状況において所定の特別遊技が実行開始された場合、第1案内表示が表示された後に大入賞口が開放開始する

ことを特徴とする弾球遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記課題を解決するために、本発明のある態様の弾球遊技機は、遊技領域が形成された

遊技盤と、遊技領域の所定位置に設けられ、遊技球の入球容易性を高めるよう作動可能な入球変動機構を有する始動口と、始動口への入球を契機として取得した抽選値に基づいて当否判定を実行する当否判定手段と、遊技領域の所定位置に設けられ、当否判定の結果に応じて開放され、遊技球の入球が遊技者への利益付与の契機となる大入賞口と、遊技領域の所定位置に設けられ、入球可能な状態へ変化するよう作動可能な可変入球装置と、当否判定の結果が小当たりとなった場合に、可変入球装置を入球可能な状態へ作動させる小当たり遊技を実行する小当たり遊技制御手段と、小当たり遊技の実行中に可変入球装置内の特定領域に入球した場合、大入賞口の開放を伴う特別遊技を実行する特別遊技制御手段と、小当たり遊技の実行中に特定領域に入球して特別遊技が実行される場合、その特別遊技の終了後に始動口への入球容易性が通常状態より高くなるよう入球変動機構が作動される入球容易状態へ移行させるか否かを決定し、入球容易状態へ移行させることを決定した場合にその特別遊技の終了後に入球容易状態へ移行させる特定遊技制御手段と、可変入球装置が入球可能な状態となることを演出的に示す小当たり演出が表示され、特別遊技が実行中であることを演出的に示す特別遊技演出が表示される演出表示装置と、小当たり演出の表示過程を定める演出パターンとして、可変入球装置が入球可能な状態となることを特定の演出オブジェクトの表示とともに示す表示過程を定める特定小当たり演出パターンを含む複数の小当たり演出パターンを保持し、特別遊技演出の表示過程を定める演出パターンとして、特別遊技の終了後に入球容易状態へ移行される旨を示唆する示唆演出を当該特別遊技中の複数の示唆タイミングの少なくともいずれかに表示させる表示過程を定める特定特別遊技演出パターンを含む複数の特別遊技演出パターンを保持するパターン記憶手段と、当否判定の結果が小当たりとなる場合に複数の小当たり演出パターンのいずれかを決定し、特別遊技が実行される場合に複数の特別遊技演出パターンのいずれかを決定する演出決定手段と、演出決定手段が決定した内容にしたがう演出を演出表示装置に表示させる演出表示制御手段と、を備える。パターン記憶手段は、特定の演出オブジェクトの表示種類が異なる複数の特定小当たり演出パターンを保持し、パターン記憶手段は、示唆演出を表示させる示唆タイミングが異なる複数の特定特別遊技演出パターンを保持し、特別遊技が実行されて示唆演出が表示される場合、複数の示唆タイミングのそれぞれにおいて示唆演出が表示される可能性の高さが当該特別遊技の開始前に表示された特定の演出オブジェクトの表示種類に応じて異なるように示唆演出を表示する。

また、本発明のある態様の弾球遊技機は、遊技領域が形成された遊技盤と、前記遊技領域の所定位置に設けられる始動口と、前記始動口への入球を契機として取得した抽選値に基づいて当否判定を実行する当否判定手段と、前記当否判定の結果を示すための図柄が変動表示される図柄表示装置と、前記遊技領域の所定位置に設けられ、前記当否判定の結果に応じて開放され、遊技球の入球が遊技者への利益付与の契機となる大入賞口と、前記遊技領域の所定位置に設けられ、入球可能な状態へ変化するよう作動可能な可変入球装置と、前記当否判定が所定結果となることを示す図柄が停止表示された場合、その図柄停止後に前記可変入球装置の作動を伴う特別遊技を実行する特別遊技制御手段と、遊技者の操作に応じて前記遊技領域に遊技球を発射可能な発射装置と、演出表示装置と、を備え、所定方向への遊技球の発射を促す第1案内表示を演出表示装置に表示可能であり、前記所定方向への遊技球の発射を促す第2案内表示を演出表示装置に表示可能であり、所定の状況において所定の特別遊技が実行開始された場合、第1案内表示が表示された後に大入賞口が開放開始するよう構成されていてもよい。